

（第1面）

<p>特別管理産業廃棄物処理計画書</p> <p>2024年 4月 24日</p> <p>京都市長 殿</p> <p>提出者</p> <p>住 所 京都府京都市南区上鳥羽上調子町1-1</p> <p>氏 名 山田化学工業株式会社</p> <p>代表取締役 社長 山田 充孝</p> <p>（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）</p> <p>電話番号 075-691-4111</p> <p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	山田化学工業株式会社
事業場の所在地	京都府京都市南区上鳥羽上調子町1
計画期間	2024年4月1日～2025年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	大分類：製造業 中分類：化学工業
② 事業の規模	225140万円
③ 従業員数	112人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙、一連の処理の工程のとおり

(第2面)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	
<p>(管理体制図) 別紙、管理体制図のとおり</p>	
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	
① 現状	<b>【前年度（2023年度）実績】</b>
	特別管理産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙集計用シートのとおり t
<p>(これまでに実施した取組) 特定有害廃油の発生する製造法を変更し、溶剤転換により特定有害廃油量を削減する。</p>	
② 計画	<b>【目標】</b>
	特別管理産業廃棄物の種類
	排出量
	別紙集計用シートのとおり t
<p>(今後実施する予定の取組) 引き続き特定有害廃油の発生する製造法を変更し、溶剤転換により特定有害廃油量を削減する。</p>	
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	
① 現状	<p>(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃油はドラムを密閉し、指定場所に保管。引火性廃油は危険物倉庫内に指定場所確保し保管。汚泥は、含水率多い場合、ドラム又はフレコンをビニール袋で包む。</p>
② 計画	<p>(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 実施予定無し。</p>

## (第3面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し。		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し。		

## (第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) 実施していない。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 実施予定無し。		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度（2023年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり	
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(これまでに実施した取組) 新規契約を締結する場合、優良認定処理業者を選定する。 書面による契約を実施しており、許可書の更新確認を都度行っている。			

②計画	<b>【目標】</b>	
	特別管理産業廃棄物の種類	別紙集計用シートのとおり
	全処理委託量	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
<p>(今後実施する予定の取組)</p> <p>再生利用の可能性が大きい廃棄物について、優良認定処理業者の選定も含めて業者選択を検討する。</p> <p>委託先処理業者の現地確認の実施等。</p>		
電子情報処理組織の使用に関する事項	<b>【前年度（2023年度）実績】</b>	
	特別管理産業廃棄物 排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	1,198 t
(今後実施する予定の取組等)		
※事務処理欄		

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令（以下「令」という。）第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「—」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

特 別 管 理 産 業 廃 棄 物 処 理 計 画 書 の [ 集 計 用 シ ー ト ]

- ・下表にない種類の特別管理産業廃棄物については、「特別管理産業廃棄物の種類」欄に、品目名を記載してください。
- ・行が不足すれば、適宜追加してください。

特別管理産業廃棄物の種類	① 排出量(t)		② 自ら資源再生利用した量(t)		③ 自己焼却埋立処分又は海洋投入処分した量(t)		④ 自ら中間処理した量(t)		⑤ ④のうち熱回収を行った量(t)		⑥ 自ら中間処理した後の焼却量(t)		⑦ 自ら中間処理により減量した量(t)		⑧ 自ら中間処理した後再生利用した量(t)		⑨ 自ら中間処理した後自立的処分又は海洋投入処分した量(t)		⑩ ⑨のうち焼却処分を行った量		⑪ ⑪-①-②-③-④-⑤-⑥-⑦-⑧-⑨+⑩+⑪				⑫ ⑫-⑬+⑭-⑮-⑯+⑰+⑱+⑲				⑳ ⑲+⑳再生利用を行った量(t)				㉑+㉒+⑳埋立処分又は海洋投入処分を行った量(t)																		
	①		②		③		④		⑤		⑥		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫		⑬		⑭		⑮		⑯		⑰		⑱		⑲		⑳		㉑		㉒								
	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標	前年度実績	今年度目標											
指定されている種別(シート-2)に属する産業廃棄物の種類ごとの量	674	650																																																	
廃油(引火性)																																																			
廃酸(特管)																																																			
廃アルカリ(特管)	465	450																																																	
感染性廃棄物																																																			
廃PCB等																																																			
炭石綿等	1	1																																																	
廃油(特定有害)	56	50																																																	
汚泥(特定有害)	1.5	1.5																																																	
合計	1,198	1,153	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(注) 1) 1) 未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

別紙B

産業廃棄物処理に係る管理体制図

産業廃棄物総括責任者

製造部長

- ・廃棄物処理に関する各種事項の決定、承認

特別管理産業廃棄物管理責任者

生産技術課係長環境グループ

- ・特別管理産業廃棄物の発生する施設の運転、維持管理状況の把握。
- ・特別管理産業廃棄物の分類、保管管理

産業廃棄物管理担当課長

生産技術課長

- ・廃棄物管理状況の把握と改善策検討
- ・製造工程別発生量の把握、減量対策総括
- ・処理業者の選定、委託契約等の折衝
- ・監督官庁への各種報告作成

製造部長

製造一課長

製造二課長

生産技術課長

設備課長

生産統括課長